

# 九州の働く女性 2019

## — 仕事もプライベートも楽しく —

社会が人口減少や少子化に直面する中、女性による一層の社会進出は、生産性向上など変革につながる期待がある。国や自治体も女性活躍の推進を支援しているほか、積極的に取り組む企業が増えてきた。一方で仕事と家庭の両立には家族の理解や協力、職場環境の整備も必要になる。本特集では、充実したワーク・ライフ・バランスで活躍する九州の働く3人の女性を紹介する。

### 「麦わらバイザー」で日よけ・熱中症対策



日高さん

日本建設技術  
建設&コンサルタント事業本部  
建設第二事業部建設2課

日高 由佳さん

オン



ボーリング作業の現場

大学は工学部で土木工学科専攻でした。父が大工で、親戚が土木関係の仕事をしている環境で育ったので、将来は土木の仕事をしたと考えていました。しかし就職活動で土木関係の会社を受けたものの、当時は叶いませんでした。その後は数年間、地元で接客業をしながら土木関係の仕事を探していました。

昨年12月、土木関係の募集が出ており日土木建設技術に転職しました。現在の仕事内容は、現場の施工管理として出来形管理、工事記録する写真管理、労働災害を防止するための安全管理を担当しています。工事現場では、毎日同じではない、天候によって環境が異なります。命に関わる仕事なので、出勤したら常に緊張感を持って安全第一に努めています。建設事業部は30人ほどで技術職の中で女性社員は私一人ですが、先輩社員からは仕事で丁寧な指導を受けています。将来は管理職になり、先陣女性社員の多くも取得されています。現場では、産休や育休取得を促進しており先陣女性社員の多くも取得されています。将来は管理職になり、先陣女性社員の多くも取得されています。現場では、産休や育休取得を促進しており先陣女性社員の多くも取得されています。



友人と福岡・海の中道海浜公園で（右が本人）

オフ

帰宅後は、家族とのんびりが唯一の楽しみです。母が私に「仕事を頑張れ」とプレッシャーをかけてくれた「ヘルメットに付ける「麦わらバイザー」は、日よけや熱中症対策で活躍しています。特に暑かった今年の夏は、役に立ちました。休日は福岡の天神などでショッピングをしたり、友人と水族館などに行ったりとしっかりリフレッシュしています。